



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 ケル株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6919 URL <https://www.kel.jp/>  
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）春日 明  
問合せ先責任者 （役職名）取締役コーポレート本部長 （氏名）牧田 直規 TEL 042-374-5810  
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 2024年12月6日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	6,065	△4.8	414	△41.4	331	△61.1	207	△63.9
2024年3月期中間期	6,372	△8.8	707	△45.0	850	△41.5	575	△42.0

（注）包括利益 2025年3月期中間期 158百万円（△78.4%） 2024年3月期中間期 734百万円（△31.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	28.60	—
2024年3月期中間期	79.15	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	18,347	15,210	82.9
2024年3月期	18,924	15,390	81.3

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 15,210百万円 2024年3月期 15,390百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	47.00	—	48.00	95.00
2025年3月期	—	40.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,200	△0.3	900	△17.8	820	△35.4	550	△35.5	75.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) KEL Europe GmbH、除外 1社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	7,743,000株	2024年3月期	7,743,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	472,057株	2024年3月期	476,457株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	7,268,178株	2024年3月期中間期	7,266,543株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、当該業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(中間連結貸借対照表に関する注記) .....	9
(中間連結損益計算書に関する注記) .....	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いている一方、資源価格や原材料価格の高騰、円安による物価の上昇、世界情勢の緊迫化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。ウクライナ情勢や中東で紛争が長期化し地政学リスクの増大や世界経済の減速見通しを背景とした輸出の低迷やエネルギー価格の高騰、急激な為替変動など経済動向は不透明な状況が続きました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界は、市況の低迷から改善の兆候が見られたものの、需要の牽引役である半導体製造装置等の工業機器市場の回復のペースはバラつきがあり、在庫調整による需要の減少が一部で継続し、車載機器市場やその他の市場につきましても本格的な受注回復には至っておりません。

このような状況の下、当社グループは注力市場の動向を見極めた受注活動を展開するとともに、生産性の向上によるコスト削減、設備投資の効率化や諸経費の抑制など経営全般にわたり効率化を推し進め、企業基盤のさらなる強化に努めてまいりました。当社グループは納期改善に向け生産の効率化を推進してきましたが、売上は工業機器向けを中心に遊技機器向けも生産調整の影響を受け減少いたしました。

これらの結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は60億65百万円（前年同期比4.8%減少）、利益面につきましては営業利益4億14百万円（同41.4%減少）、経常利益は外貨建債権債務の評価替え等による為替差損1億18百万円の計上もあり、3億31百万円（同61.1%減少）、親会社株主に帰属する中間純利益2億7百万円（同63.9%減少）となりました。

品目別の業績を示すと、次のとおりであります。なお、当社グループは、単一セグメントに属するコネクタ、ラック、ソケット等の製造・販売を行っているため、品目別の業績を示しております。

## イ. コネクタ

車載機器向けフローティングコネクタ、医療機器向けハーフピッチ、極細同軸コネクタの受注は堅調に推移したものの、監視カメラ、業務用カメラ等の画像機器向け極細同軸ケーブル用コネクタ、工業機器向けコネクタ全般の受注が減少し、売上高は52億24百万円（前年同期比6.5%減少）となりました。

## ロ. ラック

医療機器向け、電力および車両関連（鉄道）向けの特注ラックの受注が堅調に推移し、売上高は7億61百万円（同28.0%増加）となりました。

## ハ. ソケット

遊技機器向けの受注が減少したことにより、売上高は47百万円（同69.5%減少）となりました。

## ニ. その他

その他の売上高は31百万円（同0.7%減少）となりました。

地域別の売上高は、次のとおりであります。

地域別	売上高（百万円）	前年同期比（%）
日本	3,186	△19.2
中国	1,174	20.7
その他アジア	755	△5.9
欧州	777	69.1
北中米	171	△12.0
合計	6,065	△4.8

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。  
2. その他アジアに属する地域の内訳は、台湾、韓国、タイ等であります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ5億76百万円減少し、183億47百万円となりました。これは、商品及び製品の増加額1億78百万円があったものの、現金及び預金の減少額2億77百万円、受取手形及び売掛金の減少額1億1百万円、電子記録債権の減少額2億46百万円があったこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3億96百万円減少し、31億37百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の増加額1億70百万円があったものの、電子記録債務の減少額5億5百万円があったこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億80百万円減少し、152億10百万円となり、自己資本比率は82.9%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億57百万円減少（前年同期は2億86百万円の増加）し、当中間連結会計期間末には52億58百万円（前年同期末は55億90百万円）となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動の結果得られた資金は6億59百万円（前年同期は11億99百万円の獲得）となりました。これは、仕入債務の減少による支出2億83百万円、法人税等の支払額26百万円があったものの、売上債権の減少による収入2億52百万円、税金等調整前中間純利益3億28百万円の計上及び減価償却費4億65百万円の計上があったこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動の結果使用した資金は6億73百万円（前年同期は6億7百万円の使用）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出4億52百万円、関係会社株式取得による支出1億10百万円があったこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動の結果使用した資金は3億48百万円（前年同期は3億98百万円の使用）となりました。これは、配当金の支払額3億48百万円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想（通期）につきましては、2024年5月9日の決算短信で公表いたしました通期の予算数値を修正しております。

詳細につきましては、本日（2024年11月8日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,342,048	5,064,226
受取手形及び売掛金	2,842,259	2,740,396
電子記録債権	1,271,196	1,025,111
有価証券	174,221	194,540
商品及び製品	678,093	856,174
仕掛品	101,949	79,024
原材料及び貯蔵品	1,481,863	1,452,669
その他	132,221	148,625
貸倒引当金	△3,873	△3,571
流動資産合計	12,019,979	11,557,199
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,367,139	1,399,057
機械装置及び運搬具(純額)	1,446,242	1,322,791
工具、器具及び備品(純額)	363,095	321,725
リース資産(純額)	—	20,268
土地	1,171,754	1,171,754
建設仮勘定	8,511	20,157
有形固定資産合計	4,356,743	4,255,754
無形固定資産	193,301	202,066
投資その他の資産		
投資有価証券	1,251,136	1,199,272
その他	1,103,098	1,133,179
投資その他の資産合計	2,354,235	2,332,452
固定資産合計	6,904,279	6,790,272
資産合計	18,924,258	18,347,472
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	608,922	779,268
電子記録債務	1,162,934	657,020
短期借入金	450,000	450,000
未払法人税等	30,730	141,901
賞与引当金	234,684	209,508
役員賞与引当金	40,000	10,000
その他	450,417	366,884
流動負債合計	2,977,690	2,614,584
固定負債		
リース債務	—	18,828
退職給付に係る負債	494,533	500,160
その他	61,334	3,582
固定負債合計	555,868	522,570
負債合計	3,533,558	3,137,154

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,000	1,617,000
資本剰余金	1,440,058	1,445,304
利益剰余金	11,759,220	11,620,889
自己株式	△246,674	△244,396
株主資本合計	14,569,603	14,438,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	550,497	437,486
為替換算調整勘定	271,483	333,950
退職給付に係る調整累計額	△883	84
その他の包括利益累計額合計	821,096	771,520
純資産合計	15,390,700	15,210,317
負債純資産合計	18,924,258	18,347,472

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	6,372,682	6,065,588
売上原価	4,560,781	4,475,733
売上総利益	1,811,900	1,589,855
販売費及び一般管理費	1,103,993	1,174,996
営業利益	707,907	414,858
営業外収益		
受取利息	3,809	4,262
受取配当金	29,148	29,568
為替差益	101,615	—
助成金収入	7,401	371
その他	2,255	1,814
営業外収益合計	144,229	36,017
営業外費用		
支払利息	1,288	1,580
為替差損	—	118,057
その他	225	97
営業外費用合計	1,513	119,736
経常利益	850,623	331,139
特別利益		
固定資産売却益	—	229
特別利益合計	—	229
特別損失		
固定資産除却損	0	2,732
特別損失合計	0	2,732
税金等調整前中間純利益	850,623	328,636
法人税、住民税及び事業税	279,666	130,690
法人税等調整額	△4,262	△9,941
法人税等合計	275,404	120,749
中間純利益	575,218	207,887
親会社株主に帰属する中間純利益	575,218	207,887

## (中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	575,218	207,887
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78,327	△113,011
為替換算調整勘定	80,166	62,467
退職給付に係る調整額	579	967
その他の包括利益合計	159,073	△49,575
中間包括利益	734,292	158,311
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	734,292	158,311
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	850,623	328,636
減価償却費	495,922	465,588
株式報酬費用	—	1,881
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△329	△302
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,237	△28,819
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△54,000	△30,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	293	5,626
受取利息及び受取配当金	△32,957	△33,831
支払利息	1,288	1,580
為替差損益 (△は益)	△27,764	26,700
固定資産売却損益 (△は益)	—	△229
固定資産除却損	0	2,732
売上債権の増減額 (△は増加)	680,708	252,256
棚卸資産の増減額 (△は増加)	263,364	1,083
仕入債務の増減額 (△は減少)	△511,803	△283,728
その他	△52,396	△55,086
小計	1,599,711	654,089
利息及び配当金の受取額	32,944	33,833
利息の支払額	△1,262	△1,552
法人税等の支払額	△432,064	△26,378
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,199,330	659,992
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△484,752	△452,237
有形固定資産の売却による収入	—	230
関係会社株式の取得による支出	—	△110,579
保険積立金の積立による支出	△90,303	△93,589
その他	△32,113	△17,760
投資活動によるキャッシュ・フロー	△607,170	△673,936
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△398,999	△348,107
財務活動によるキャッシュ・フロー	△398,999	△348,107
現金及び現金同等物に係る換算差額	93,756	12,377
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	286,917	△349,674
現金及び現金同等物の期首残高	5,303,187	5,516,269
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	92,171
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,590,104	5,258,767

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※ 中間連結会計期間末日満期手形等

中間連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、前連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。前連結会計年度末日満期手形等の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
受取手形	1,945千円	一千円
電子記録債権	251,804	—

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
従業員給料	311,375千円	359,779千円
賞与引当金繰入額	109,387	84,226
役員賞与引当金繰入額	20,000	10,000
減価償却費	24,722	30,292
退職給付費用	11,944	12,266

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
現金及び預金勘定	5,417,437千円	5,064,226千円
有価証券勘定に含まれる短期投資	172,667	194,540
現金及び現金同等物	5,590,104	5,258,767

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)及び当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社グループは、単一セグメントに属するコネクタ、ラック、ソケット等の製造・販売を行っているため、記載を省略しております。